

2017年(平成29年)3月17日発行  
人権プラザ赤堀(TEL059-351-7609 FAX059-351-7608)  
<http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu73141.html>



10月23日 赤堀ふれあいまつりでの演奏

## 「四日市市部落差別をはじめとするあらゆる差別を無くすことを目指す条例」 (抜粋)

(目的) 第1条 この条例は、日本国憲法及びあらゆる形態の人種差別の撤廃に関する国際条約その他の人権に関する条約の理念にのっとり、すべての市民に基本的人権を保障し、部落差別をはじめ、女性差別、障害者差別、外国人差別など、あらゆる差別を無くすための市及び市民の責務並びに市の施策について必要な基本事項を定めることにより、すべての市民が人として尊重され、明るく住みよい人権尊重都市四日市市の実現に寄与することを目的とする。

(市民の責務) 第3条 市民は、前条の規定により市が実施する施策に協力するとともに、基本的人権を相互に尊重し、自らも差別及び差別を助長する行為をしてはならない。

「赤堀ふれあいまつり」を通じて、お互いに顔の見える関係を積み重ねてきた実績をもとに、輪となり、広がり、つながっている「人権のまちづくり」の仲間と一緒に、差別をなくす取り組みを進めていきたいと思えます。

平素は人権プラザ赤堀の活動にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。

今年度は、アメリカの大統領が共和党のトランプ氏になり、世界情勢も大きな変化が予想されます。また、国内では、小池東京都知事により、都庁に変化が起こっているように感じられます。

さて、毎年十月に開催しています「赤堀ふれあいまつり」も、来年度は第十回の記念行事となります。例年にも増して、より盛大に開催していきたいと考えております。その中で大切なことは、まつりを通じて、お互いに顔の見える関係をつくることだと思えます。冒頭のような様々な変化の中で、差別をなくす取り組みを進めるにあたって、自分一人だけでは、立ち止まったり挫折してしまったりすることがあるかもしれません。継続していくことは、難しい面があります。その際、自分一人で考えるのではなく、つながりや仲間の輪の中で相談できる環境があつてこそ、取り組みが維持されていきます。



人権プラザ赤堀運営委員会  
委員長 辻山 忍

辻山 忍

# 成人講座・研究大会

## 第68回 全国人権・同和教育研究大会に参加して

人権プラザ赤堀 黒田 理音



第68回全国人権・同和教育研究大会に参加させていただきました。第4分科会「人権確立を目指すまちづくり」の第4分科会、徳島県の取組である「吉野川市性的マイノリティ(LGBT)支援事業」虹色に輝くまちづくりをめざして」の実践報告を聞いてきました。

ここ数年でやっと注目されるようになってきた性的マイノリティの存在。注目されるようになってきた背景には、この日の報告者である性的マイノリティ当事者の清水さんの地道な活動がありました。以前は、あまり認識されていなかった性的マイノリティの存在。その中で、一人でもがき苦しんできた当事者たち。自分と同じように悩んでいる人を救いたいと、動画の配信でメッセージを伝えたり、団体を立ち上げたり、様々な活動を通じて人の心を動かしてきました。その活動に共感し、大きなうねりを起こすきっかけを担ったのが、今回共同発表した吉野川市の職員でした。二人の「不合理な現実を変えたい」「みんながあらのままに輝けるまちをつくりたい」という気持ちが一つになって、吉野川市の取組である「虹色に輝くまちづくり」につながりました。

人権プラザ赤堀でも、昨年度の成人講座で土肥いつきさん、今年度は山口颯一さんという二人の性的マイノリティ当事者を講師に招いて、学習会を持ちました。どの当事者にも共通している点は、「ありのままの自分を生きたい」「ひとりひとりの個性や違いが認められる社会になつてほしい」という思いです。この思いはきつと誰もが持っている感情です。当事者だからと言って特殊な存在ではありません。実は誰もがみんな似たような経験をしていたりするのです。そういったことに気づき、何か自分にできる歩みを一歩進めるということをこの学習会で確認し合いました。

人権プラザ赤堀の職員として、さまざまな年齢層の人と関わっていく中で、時に接し方に迷うことがあります。それでも、今まで学んできたことを思い出しながら、常に住民の気持ちに寄り添いたいと願い活動を続けています。そのためには、今後も広く深く学び、自分自身はじめ、周りの人の歩みを後押しできる力量を養いたいと思います。

## 第38回 四日市人権・同和教育研究大会での提案報告

ときわ保育園 麻生 ひろみ

四日市人権・同和教育研究大会では、『進路・学力保障』の分科会で四日市市立橋北中学校・三重県立四日市工業高等学校と共に提案をさせていただきました。

今回、実践を報告するにあたり、「子どもの将来を見据えて育ちを保障していく」という視点で、職員間で様々なことを話し合いました。「生きる力」とはどのような力なのか、子ども一人ひとりが自尊心を育み自己実現するためには周りとのような関係性(仲間づくり)が必要か、そのためにはどのような保育が大切なのか、『進路・学力保障』の取り組みが差別的解消にどのようなつながるのか、などを職員全体で再確認する機会となりました。

とりわけ保護者との関わりにおいて、保育者が保護者に対し何気なくかけた言葉を保護者はどのようにとらえたのだろうか。また保護者が発したふとした言葉の裏にはどのような思いが込められているのだろうか…。など、今回の実践を機に、「保護者と共に」「保護者の思いを受けて」取り組む保育について改めて問い直しました。また、園内研修や大会当日の会場での討議の中で様々な投げかけをいただき、自分自身では気づいていなかった自己の価値観からくる偏見にも気づくことができました。

保育者の価値観や意識、そして保育内容が子ども達の育ちに大きく影響をします。子どもの困り感はどこにあるのか、なぜ困っているのかを生活背景やクラス集団など様々な視点から捉え、気になる子に対する保育者の見方を見直しました。

また、困っている子に寄り添い、相手の気持ちになつて考えることができるようクラスでの出来事をクラス全体で話し合い、個々の子どもにかえす機会を大切にしてきました。

今後も、子どもたち一人ひとりが安心して過ごすために、個々の発達や遊びの興味を理解し、どのような遊びや環境が必要なのかを考え、具体的な取り組みを通して「生きる力」を育んでいきたいと思えます。そして何より、自分自身の人権感覚をもっと磨いていきたいと思えます。



## 「人権尊重都市宣言」1992年12月22日

すべての人々の基本的な人権が尊重される自由で平等な社会の実現は、人類共通の願いであります。しかし、私たちの身のまわりには、今なお因習や偏見などによるさまざまな人権問題が存在しています。人権が侵害されることは、いかなる理由であっても許されることではありません。

人が人として尊ばれる明るく住みよい社会を築くため、私たちは、ここに四日市市を「人権尊重都市」とすることを宣言します。

## 「日本国憲法第14条」

すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。



ネットにより簡単に広がってしまふ許しがたい情報群に対し、それを阻止しようとするためには莫大なエネルギーが必要となることなど、近年の情報媒体としてのインターネットから新たな差別が生まれる構図には、驚かされました。

私たちは、自分自身の確かな思考に基づいた、人権感覚豊かな判断力を持たなければならぬことに気づかされました。

### 第一回成人講座 六月二十日

#### 【今日の部落問題】

「インターネット上で起こる差別事象から見る部落問題」

特定非営利活動法人いが創造塾  
副理事長 中村 尚生 さん

第一回の講座は、ネットの世界でうごめく差別事象に迫るものでした。

導入で動物占いを例示し、私たちがどれほど根拠のない要素から「思い込み」という過ちに陥るものかを実感することから講座が始まりました。

本題では、個人情報知らぬ間に漏えいされている事象や、部落差別を助長するおそれのある悪質な事例などを、インターネットの掲示板に表れた実際の画像などを用いて、わかりやすく説明をしていただきました。

ネットにより簡単に広がってしまふ許しがたい情報群に対し、それを阻止しようとするためには莫大なエネルギーが必要となることなど、近年の情報媒体としてのインターネットから新たな差別が生まれる構図には、驚かされました。

私たちは、自分自身の確かな思考に基づいた、人権感覚豊かな判断力を持たなければならぬことに気づかされました。

### 第二回成人講座 十二月十二日

#### 【性別って、2つだけ?】

「知らないじゃ済まされないLGBT」

一般社団法人ELLY  
代表理事 山口 颯一 さん



講師は山口颯一さん。女性として生まれ、幼いころからご自身の性別に違和感を感じ続け、二十歳の時に性別適合手術を受け、性別を男性に変更しました。

現在、多くのLGBT当事者から受けた相談、また継続してこられた講演活動やイベントなどを通し、学校・企業・行政を巻き込み、社会にLGBTを正しく根付かせる啓発が続けられています。

七十余名の参加者に向けて、からだの性別・心の性別・恋愛対象としての性別など、固定視してしまいがちな見方を振り返る題材を示されました。

その中で、「ふつう」「常識」という枠の外に置かれてしまっている状況に、自死を覚悟するまで追い込まれている人が多くいることも訴えられました。

二つの性別のみにとらわれがちな私たちにに対し、それだけでは測れない例が具体的に示されることにより、私たちは先入観の持つ危険性・差別性に徐々に気づき始めました。

山口さんは最後に「ALLY（アライ：LGBT当事者の人が相談しやすい人・LGBTの理解者）になつてほしい」と結びました。

### 第三回成人講座 二月二十日

#### 【発達障害への理解と支援】

特定非営利活動法人四日市子ども発達支援センター  
理事長 長谷川 時三 さん



長谷川さんは、過去に人権・同和教育課長として当地区と関わりがあった方で、歴代自治会長の写真を背に、感慨深い様子で講演を始められました。

演題は、「発達障害への理解と支援」。現在、特別支援の必要な子どもが全国的にも増加の一途にある傾向で、子育てのさ中にある年代層に焦点を当てました。

長谷川さんは、子どもの発達の過程でよく見られる障害の種類を類型別に説明していただき、それらに見られる典型的な子どもの動きや様子、兆候などを、ご自身の携わつてこられた相談経験をもとにわかりやすく例示されました。そのたびに受講者のみなさんのうなずく姿がうかがえました。

また、これらの説明にあつた発達上の障害は、単独でなく複合して表れることの方が多く、支援の仕方が難しいゆえんともなっているということでした。

支援の心構えとして、個々の症状が起こる前のきざしを見逃さないことがポイントになると考えられます。

対応の一例として、相手を傷つけやすい子どもには、周りが「ふわふわことば」を多用して、その子どもの自己肯定感を醸成していくのが効果的だそうです。これは、私たちの日常の言葉の使い方にもまさにあてはまることだと、振り返ることができました。



# 赤堀人権のまちづくり推進委員会

## 全体行事



5/15 春の視察研修(航空自衛隊浜松広報館)



7/26 まちづくりコンサート (LIMさん)



11/13 秋の視察研修(満蒙開拓平和記念館)



3/12 餅つき

### 伝統文化普及 太鼓「ゆう」



隔週水曜日に練習しています。人文協「すくらむ」ジュニア太鼓クラブの指導もしています。今年度は、赤堀ふれあいまつり・常磐まつりなどで演奏しました。

### 人権啓発 コラソン「赤心」



人権講座や研修会を企画したり、視察研修の際、車中で人権研修を実施したりしています。また、今年度は、参加型地区懇談会に取り組み、他地区へも出かけました。

### 多文化共生 「Lea Lei (レア・レイ)」



外国と日本との文化の交流を図るためにいるるな国の人を招いています。今年度は、スリランカ、タイの方々を招き、それぞれの国の料理や文化について学びました。

### 子育て支援 「スマイル」



保護者が学び合い、子どもをとりまく環境の改善や、子育てをテーマにして、学習会などを企画・開催しています。今年度は、子どもの「歯」についての講座も行いました。

# 人権のまちづくり

赤堀人権のまちづくり推進委員会では、地域生活課題を赤堀南二区及び周辺地域住民が一体となり、住民主導で解決することによって、地域社会における人権・同和問題に関する相互理解を促進させることを目的として活動しています。委員会には9つの加盟団体と3つの部会（「調査・研究部」「記録・広報部」「研修部」）があります。それぞれの活動を通して、皆で楽しく交流を進めています。

## 環境美化「すぎな」



「自分たちのまちは自分たちできれいに」と、毎月第3日曜日に、公園・道路のゴミ拾い、スポーツ広場の清掃をして、環境美化の啓発活動をしています。今年度は、鹿化川の清掃とごきぶり団子づくりも行いました。

## 食文化「彩（いろどり）」



食の大切さを見直し、健康づくりなどを行っています。旬の野菜を用い、栄養学、食の文化や歴史にもふれ学習しています。今年度は、伝統食文化の「イリカス」をつくり、次世代に継承するための記録も残しました。

## パソコン普及「パソパル」



パソコンを通して仲間づくりをしています。土曜日に勉強会を開催、プラザ主催のパソコン年賀状教室や人文協「すくらむ」パソコンクラブの指導もしています。

## 地域福祉「ひだまりの会」



毎月第3木曜日に集まり、介護予防の勉強、体操などをして、いつまでも元気に暮らせるよう健康づくりをしています。遠足に出かけたり、避暑会やクリスマス会も行ったりしています。

## 体力づくり「楽しく」



毎月第3月曜日にグラウンドゴルフに取り組むなど、健康づくりを通じて、地域交流も図っています。

**私たちと一緒に活動しませんか。**

**赤堀人権のまちづくり推進委員会  
会員募集**

「住みやすい・住みたいまち」になるよう、一緒に活動しませんか。中学生以上の方なら、どなたでもご参加いただけます。ご入会をお待ちしております。

お申込みお問い合わせは、事務局、人権プラザ赤堀までご連絡ください。

第9回 赤堀  
ふれあい  
まつり

10月23日(日) ~笑顔でつなげるまちづくり~



にぎわう会場

今年も多くのスタッフと出演者の協力により、まつりが盛大に開催され、たくさんの人たちで賑わいました。

あそびコーナー



ステージ発表

ゆるキャラ名前表彰式

自治会活動



8/27 夏祭り (盆踊り)



12/22  
育成会  
(クリスマス会)

常磐地区子ども人権文化育成協議会（人文協）は、『地域で育てる地域の子どもたち』をモットーに、児童集会所を拠点にした活動「すくらむ」「キッズスクール」「児童集会所開館支援」を行っています。前期を5月～10月、後期を11月～3月と2期制で行いました。また、年に2回の「すくらむフェスティバル」では、各クラブの活動の発表や交流をしています。

## すくらむフェスティバル

毎年、7月と3月にすくらむの活動を「すくらむフェスティバル」で発表・展示しています。

### 7/23 すくらむフェスティバル



### 3/12 すくらむフェスティバル



#### ★ものづくりクラブ

エコに関心を持ってもらえるよう、廃材を再利用して楽しいおもちゃを作りました。作品を作り上げる喜びを味わっています。



#### ★人形劇クラブ「フルーツパフェ」

題材選びから台本づくり、人形作りまで、みんな自分たちの手作りです。常磐中央幼稚園で公演もしました。



#### ★パソコンクラブ入門

基本的な操作を覚えて、カレンダーづくりや名刺づくりをしました。「常磐まつり」の会場で展示し、見ていただきました。



#### ★パソコンクラブ初級

入門同様に、カレンダーづくりや名刺づくりをして、「常磐まつり」の会場で展示しました。先生方にていねいに教えてもらい、楽しんでいます。

#### ★ジュニア太鼓クラブ入門



基礎練習から始まり、「まつり」「どんどん囃子」を演奏できるようにになりました。

#### ★ジュニア太鼓クラブ初級

入門のメンバーとともに「天白ふれあいまつり」「赤堀ふれあいまつり」「常磐まつり」に出演し、「干将」「あけぼの」を演奏しました。

#### ★「輪」ジュニア太鼓クラブ中学生



大人の太鼓『太鼓「ゆう」』のみなさんと一緒に活動しています。小学生のメンバーとともに地区イベントに出演しました。

#### ★ドリームクラブ



学習習慣を身につける自主学习に取り組んでいます。社会見学では、「名古屋港水族館」へ行き、バックヤード見学をさせていただきました。



進路ガイダンスでは中学生が進路を考える参考になるように高校の先生や先輩にお話をしてもらいました。

# キッズ スクール

キッズスクールは、子どもの居場所づくりと、そこでの活動を通して幅広い交流や相互理解を図ることにより、仲間としてお互いを尊重しあう心を育むことを目的に、月に1回程度行っている活動です。

知的好奇心を持つような内容や、新しいスポーツに挑戦する企画など、子どもたちが意欲や興味・関心を持つことができる内容を計画、実施しています。



5/21 グラウンドゴルフ



6/11 えほんであそぼう!



7/2 お手軽クッキング!



7/16 お菓子をつくって  
手作りひこうきであそぼう!



8/3 小物入れを作ろう!



8/9 習字を書こう



8/19 人権のポスターを描こう



9/10 みんなでつくってたのしくあそぼう!



10/15 マイはしを作ろう!



11/12 身近なものであそぼう!



12/10 ピンポン大会



◀1/21  
木の实を使っ  
て楽しく工作  
しよう



2/18 ▶  
昔遊びを  
しよう!



# 児童集会所自由開館



児童集会所は、人権文化の拠点として、また人を尊重するという人権の土台をつちかう仲間づくりのための場として開館しています。たくさん子どもたちが自由に遊んだり、読書や勉強をしたりしています。また、絵本、図鑑、児童図書など本の貸し出しもしています。常磐人文協の事業として、開館支援のスタッフさんに開館時の見守り、図書や遊具の整備をいただいています。

**だれでも、  
自由にあそべます!**  
(未就学児は保護者同伴で)  
**月曜日～土曜日  
(日・祝休み)  
午後1時～5時**

# 図書利用の 紹介

人権プラザ赤堀や児童集会所では、図書の貸し出しを行っています。人権関係の図書をはじめ、話題の図書、絵本など様々な分野の本があります。購入希望の図書のリクエストも受け付けていますので、ぜひご利用ください。



# 各種講座・就業支援事業

## パソコン年賀状教室



手芸教室

## パソコン教室



## 料理教室

## 子ども料理教室



人権プラザ就業支援事業  
フォークリフト  
運転技能講習



## 定期講座一覧

### ◆手芸教室

第2・4木曜日 午後1時30分～

### ◆パソコン教室

随時

### ◆パソコン年賀状教室

年末に3回程度

### ◆料理教室

隔月 土曜日 午後1時30分～

### ◆子ども料理教室

隔月 土曜日 午前10時～



この他にも、みなさんの希望などにより開催可能な講座もありますので、ご意見をお寄せください。

## 人権プラザ赤堀では 相談事業を行っています。

福祉相談：毎月第2木曜日 午前9時～11時

健康相談：毎月 上旬 午後2時～3時

教育相談：毎週 木曜日 午後5時30分～8時

その他、人権、住宅、経営、就労、生活一般にかかる相談を随時受け付けています。どうぞご利用ください。

電話 351-7609

Fax 351-7608

## トピックス

プラザのトイレ  
(男女)を改装しました。

段差もなくなり、清潔感のある、使いやすいトイレになりました。

みなさん、きれいに使いましょう！



### トイレの怪???

早朝のプラザ…「誰もいないのによくトイレの電気がついている」…と、地域の方から連絡をいただきました。誰かがカギを開けて侵入したか？ そういえば夜中に誰もいないのに水洗の流れる音も…とドキッとしましたが、心配ご無用！センサーの強さや時間帯を調整することで、通常の仕組みに戻りました。ご連絡ありがとうございました。

## 編集委員

○古河 和義  
○委員長  
○副委員長  
(五十音順)  
伊藤 幸司  
川北ひろみ  
北村 京美  
黒田 理音  
鈴木 茂見  
辻山 近藤  
辻山 忍  
野田 直希  
岩間 英  
北平茉莉子  
桐山 道久  
近藤 健  
豪 忍



## 編集後記

小紙のバックナンバーをめくって折々の作品を拝見しますと、当地域のありし時代のありし姿が鮮やかに目に映って参ります。

たかが広報誌ですが、されど広報紙、四十二年間の紛れもない歴史がここに凝縮されています。

さて、本年度もこのように、一年を振り返って、活動をご紹介できることを光榮に思います。

赤堀最大行事の一つである「赤堀ふれあいまつり」や、子どもたちの諸活動など、掲載記事をご覧いただいた皆さまに、「時の移り変わり」をお楽しみいただけたことと思っております。

委員長挨拶にもございます通り、来年度はふれあいまつりの記念すべき十回目を迎えます。

積み重ねてきた時や人の関わりを一層深めたいと願いつつ、「あかほり」発行にご協力を賜りました皆さまに厚くお礼申し上げます。

(表紙の題字)

故山城幸治郎 揮毫



ホームページもご覧ください。http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu73141.html